

平成28年7月25日発行

町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

No
179

和のまち



笑顔で植えた元気米 収穫が楽しみ♪
(龍田小5年生 農業学習体験)

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 新しい議会組織決まる | P2 ～ 3 |
| 議会中継がスタート | P5 |
| どないなっとな!?どないするん?
～一般質問～ | P6 ～ 9 |
| どうなった!?一年前のあの答弁 | P10 |
| 太子町!あれこれピックアップ♪
～ふるさと太田の城山～ | P12 |

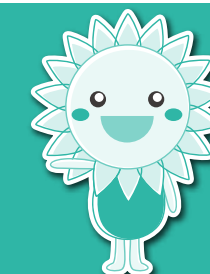


太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん

5月臨時会

議会組織が

決定しました



監査委員
森田 眞一



副議長
中島 貞次



議長
清原 良典

5月10日の臨時会において、新しい議会組織が決定しました。

※注 7月10日「太子町議会議員補欠選挙」が執行され、委員会の委員構成等が変更となりました。それについては、次回発行の議会だよりでお知らせいたします。

委員長 首藤 佳隆
副委員長 橋本 恭子
委員 中島 貞次
吉田 日出夫
藤澤 元之介
中藪 清志



議会運営委員会

委員長 平田 孝義
副委員長 服部 千秋
委員 中島 貞次
森田 眞一
首藤 佳隆
神南 隆司



総務常任委員会

委員長 藤澤 元之介
副委員長 井村 淳子
委員 橋本 恭子
福井 昭子
堀卓史
長谷川 正信



福祉文教常任委員会

委員長 玉田 正典
副委員長 長谷川 正信
委員 吉田 日出夫
福井 輝昭
中藪 清志
神南 隆司



経済建設常任委員会

● 揖龍保健衛生施設事務組合議会
副議長 橋本 恭子
議員 平田 孝義
議員 首藤 佳隆
議員 吉田 日出夫
議員 井村 淳子
議員 堀卓史
議員 中島 貞次
議員 長谷川 正信

● 揖龍地区農業共済事務組合議会
副議長 吉田 日出夫
議員 井村 淳子
議員 堀卓史
議員 中島 貞次
議員 長谷川 正信

● 西はりま消防組合議会
議員 中島 貞次
議員 長谷川 正信

● 都市計画審議会
委員 神南 隆司

● 民生委員推薦会委員
委員 中藪 清志

● 国民健康保険運営協議会
会長 服部 千秋
委員 藤澤 元之介

● 社会福祉協議会
評議員 福井 輝昭

● 民主化推進協議会
理事 玉田 正典

■平成28年6月定例会会計別の補正予算金額

会計名	補正額	補正後の総額	主な内容
一般会計 (第1号・第2号)	2億250万円	110億129万円	ふるさと応援寄付謝礼、太子町議会議員補欠選挙費等の追加補正
特別会計 国民健康保険	178万円	38億4,281万円	国民健康保険システム改修委託料の追加補正

■平成28年6月定例会議決結果

議案等の名称(略称)	結果
平成28年度補正予算 一般会計(第1号)	可決 (全員賛成)
一般会計(第2号)	可決 (全員賛成)
国民健康保険特別会計予算(第1号)	可決 (全員賛成)
発議 太子町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	可決 (全員賛成)
請願 「まちづくりに関して、太子町の行政能力向上と、議会が地域や住民視点で取り組むことを求める請願」 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	不採択 (賛成少数) 採択 (全員賛成)
意見書 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書	可決 (全員賛成)

議会中継がスタートしました。

太子町議会は、平成28年3月定例会よりインターネットを利用した録画映像を配信しています。

〈配信内容〉

本町議会における議場で開催される定例会の一般質問

〈視聴方法〉

パソコン・タブレット・スマートフォンなどを利用し、太子町ホームページから太子町議会→議会中継へとお進みください。



〈太子町ホームページ〉

議会中継を選択

議会中継 太子町

検索

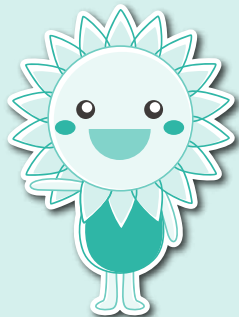
9月定例会予定

- ・9月1日(木)【第1日／提案説明】
- ・9月2日(金)【第2日／一般質問】
- ・9月6日(火)【第3日／議案質疑】
- ・9月26日(月)【第4日／討論・採決】

議会傍聴にお越しください！

◆お知らせ

9月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。



条例改正

5月臨時会

6月定例会

5月臨時会・6月定例会

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等

国が市町へ示している固定資産評価審査委員会条例(例)において、条例が適用される日が、平成28年4月より固定資産課税台帳への価格の登録日から公示又は通知日に改正されたことに伴う改正。

太子町税条例等の一部を改正する条例の制定

※わがまち特例を導入することによる、太陽光発電整備等の固定資産税の特例措置期間を延長する改正及び項すれの整備。

※わがまち特例とは、地方税の特例措置について、国が一律に定めた内容を地方自治体が自主的に判断し、条例で決定できるようにする仕組み。

■平成28年5月臨時会議決結果

議案等の名称(略称)	結果
承認 専決処分したものに付き承認を求めること (行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定)	承認 (全員賛成)
承認 専決処分したものに付き承認を求めること (太子町税条例等の一部を改正する条例の制定)	承認 (全員賛成)

一般会計補正予算の主な内容

ふるさと応援寄付謝礼

3,800万円増額

本年度より開始したふるさと応援寄付金に対する謝礼が、当初の予測を大幅に上回り、年間で1億円程度見込まれることによる追加補正。



太子みそ

情報セキュリティシステム構築・改修委託料

4,517万円増額

個人番号制度における情報提供ネットワーク

システムの稼働に合わせ、連携する町内業務システムのセキュリティを強化するための追加補正。

太子町議会議員補欠選挙費

236万円

太子町議会議員補欠選挙執行に伴う必要経費の補正。

放課後児童健全育成事業費(国・県補助金221万円)

331万円増額

入園希望者の増加により手狭となった太田学童保育園(スポーツ21借用分)を、東出公民館へ移設する経費の補正。

「意見書」1件を国へ提出

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書

2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

要旨

1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、35人以下学級とすること。

結果

全員賛成で可決



お詫びと訂正

議会だより178号2ページ
一般会計予算円グラフ中、自主財源の比率の記載に誤りがありました。
左記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
誤り…依存財源45・2%
正…依存財源54・8%



平田 孝義 議員
との連絡・協議
を実施してい
たい。

問 市町村単位とされる要支援の方たちの今後の処遇は

答 近隣自治体との連携を図り、連絡・協議を続けていく

平田 孝義 議員 介護制度・要支援に対する日常生活支援総合事業について。
生活福祉部長 色々なメニューにより訪問型及び通所型の短期集中基準サービスを開始している。
平田 孝義 議員 各自治体単位となり、現在ほかの自治体施設にて受けられている方たちの処遇、今後近隣自治体との連携は。
生活福祉部長 当町は1年前倒しで実施した。利用者の方に不便はかけていない。今後継続して近隣との連絡・協議を実施していきたい。

平田 孝義 議員 雨水幹線整備事業は、大変であることは分かる。ただ、これまでの計画においていろいろ問題がある中で、地域住民の生命・財産を守るのは行政の役目である。早急に雨水幹線整備事業に取り組み、被害が出る可能性が考えられる個所への対応を願う。
経済建設部長 本課題を早期に解消するため、雨水幹線検討業務委託において、総合的に検証を行い、実施可能な整備方法をまとめる計画としている。



介護支援施設



堀 卓史 議員
報系防災行政無線の整備について検討していきたい。
②21カ所ある避難所でスロープ等は76・2%、

問 福祉避難所の新たな取り組みは

答 民間施設との提携と訓練の充実をめざす

堀 卓史 議員 兵庫障害者センターが2013年に行った障害者と防災に関するアンケートで太子町も回答している。2016年現在で改善している点は。
①災害情報の伝達方法で新たな取り組みはあるか。
②一時避難所のバリアフリー化の整備状況は。
③現在目指している取り組みや課題は。
④要援護者は、避難する人や家族にあわせて避難の方法を考えることと、避難することとを諦めなくてよいようにすることが大事と考えるが。



特別支援者による避難訓練

堀 卓史 議員 障害者用トイレは12カ所57・1%、障害者用洗面所は5カ所、エレベーター等はまだ3カ所という状況だ。今後バリアフリー化は推し進めていく。
③民間の福祉施設などと福祉避難所の協定を締結し、さらにゆとりある福祉避難所の確保に努めていきたい。
④要援護者の登録とともに個別マニュアルを作成し支援の要請をする。避難所開設時は民生委員等が避難状況を把握し対応をとる。今後は防災訓練等でも福祉避難所の開設、運営訓練などのメニュー化を検討する。

どないなっとなん!? どないするん?

質問者	質 問	掲載頁
首藤 佳隆	㊦ 義務教育における保護者負担を考える	P6
	㊦ 美しくすがすがしいまちづくりに、カラスはいらない	
平田 孝義	㊦ 介護保険制度への支援を求める	P7
	・ 中学卒業まで医療費完全無料化は必要不可欠だ	
	㊦ 雨水幹線整備事業・調査計画の進捗状況は	
堀 卓史	・ 太子町らしい「地方創生」にどう取り組むのか	P8
	㊦ 福祉避難所の確保は万全なのか	
福井 輝昭	㊦ 地場産業の活性化を	P8
	・ J R網干駅前(北側)の再開発と太子町	
中越 清志	㊦ 備えあれば憂いなし! 感震ブレーカーの設置推進と、小学校への井戸設置を	P9
	・ 未来を見据えた人口減少時代のまちづくり	
吉田日出夫	㊦ 安全安心で活力のあるまちづくりについて	P9
	㊦ 誰でも起こりうる脳脊髄液減少症を正しく理解するための情報発信の徹底を	
	・ 子どもの頃からがんやがん患者に対する正しい知識・認識を持つ教育が必要だ	
井村 淳子	㊦ がん患者の経済的な負担軽減のため医療用ウィッグ購入費に助成を	P9

㊦ マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録をご覧ください。

問 キラリと光る入学時の保護者負担軽減策を

答 太子町ならではの施策を打っていききたい



首藤 佳隆 議員 義務教育の無償化と教育環境の充実を目標に、小・中学校入学時に係る保護者負担軽減のために補助教材の無償化、あるいはランドセルが制服の無償配布等、太子町ならではのキラリと光る政策を考えられたい。
町長 先生方や保護者の意見を聞きながら、2番手、3番手でなく、県内や西播磨でこれとは違う太子町らしいものをつくっていきたい。
今シーズンこそ徹底したカラス対策を
首藤 佳隆 議員 ここ数年、太田地区の東保交差点周辺にカラスの大量が押し寄せ、道路や屋根への糞害や悪臭が生じ、多くの苦情が寄せられて

生活福祉部長 調教訓練されたタカをカラスが嫌がるまで飛ばすことを考えている。長期的には近隣市町にゴミステーション対策を要請するほか、専門家の教示を受けることを検討している。
首藤 佳隆 議員 即効性のあるタカを飛ばす以外にも、GPSを使った鳥獣対策の事例等も調査の上、長期的対策にも取り組むよう強く求める。
いる。カラスの群れの異様な光景は町のイメージダウンであるから、今シーズンこそ冬が来るまでに何らかの対策を。





吉田日出夫 議員

経済建設部長
①まずは計画を進めたい。現在、業務委託の発注準備作業中で、出来る限り早期完了に取り

問 雨水幹線への対応を求める

答 早期完了に取り組む

吉田 ①雨水幹線について、今後の計画と問題箇所への早急な対応を求める。②総合戦略について地域創生に関連し、国や県の補助等は町民へ積極的な理解を働きかけ、町民の自主的な取り組みを求め、また報道がなされた、たけのこ組合への取り組み等は広報の強化を求める。③文化財保護の観点から斑鳩寺の庫裏の復旧工事についての進捗状況を確認し、現在、顕彰保存会においても各校区、町全域の方々と斑鳩寺を守る動きがあることを理解し太子の誇りとして今後、行政も取り組むことを求める。



斑鳩寺庫裏

総務部長 ②地方創生加速化交付金は、交付申請手続きを進めている。伝達についてはホームページを活用したい。たけのこ組合の取り組みは地域創生でなく県の補助メニューかと思うが、連合自治会を通じ紹介したい。

教育次長 ③5カ年、総額4億5千万の工事計画であり、県教育委員会、発足した検討委員会、斑鳩寺が中心となり事業を進める。町教育委員会としては事務手続きを進める。



井村淳子 議員

井村 脳脊髄液減少症の症状や医療機関及びブラッドパッチ療法が平成28年4月から保険適用されたことを受けて、町民や児童

問 「医療用ウィッグ」(かつら)購入費に助成を

答 兵庫県内で助成している市町はないが、今後調査研究を行う

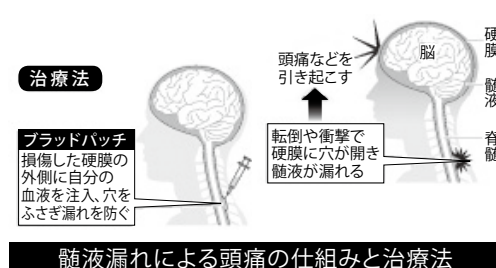
井村 抗がん剤治療を行うがん患者にとって、副作用による脱毛は身体的、精神的、経済的にも大きな苦痛である。

治療を受けながら就職や社会復帰を目指す患者へ高価な医療用ウィッグ購入の助成は必要ではないか。

生活福祉部長 がん患者が安心して暮らし続けるため、経済的な負担軽減については必要性を感じる。がん患者のみに助成を特定する必要性や助成を行っている先進地等を研究したい。

生活福祉部長 さわやか健康課が相談窓口となり、同症の症状、診療可能な医療機関について広報やホームページで情報発信を早速に行う。

教育長 研修を受けた養護教諭から各学校で報告を受けている。教職員や保護者へ定期的に同症理解のための学習や周知をしていくよう指導する。



髄液漏れによる頭痛の仕組みと治療法



福井輝昭 議員

問 地場産業の発展・継承において、太子町はどのように考えるか

答 地場産業の育成は重要施策と認識している

経済建設部長 地場産業の育成は本町においても重要施策と認識している。地場産業や特産品の生産への必要な支援の継続、また、周知についてもマスコミやメディア等を活用して情報発信を行い、西播磨全体でのPRや、圏域のイベントへの参画や地場産業の発展のために、今年度より毎月担当者が集まり情報

福井 全国そうめんサミット2016が5月21日、22日、たつの市で開催された。乾麺の次世代への継承・発展などの宣言があり、多くの乾麺ブ



特産品の素麺

経済建設部長 例えば調整区域内の事業所が用途不適合により拡大できない等でせっかく育った事業所が町外へ出ることのないよう規制緩和施策で救済していく制度といったものを活用しながら相談に乗っている。

福井 地場産業においては、小規模事業者が多く、相談事とかそういったことにはどのように対応しているのか。

共有を図ることになっている。

問 小学校に災害時にも使える井戸を

答 平成29年度に設置を検討中である

総務部長 町内4小学校のうち、斑鳩小学校には井戸が設置してある。残りの3校の小学校については、「避難所等井戸設置事業」を活用して、平成29年度に設置することを現在検討している。

感震ブレーカー設置に補助を

中敷 地震による屋内配線の短絡や電化製品の転倒で起こる通電火災対策で感震ブレーカーが注目されている。

①普及啓発活動は
②設置義務化の検討は
③設置に対する補助は

中敷 町には協力井戸が84箇所あるが、避難所になる学校にも県の「避難所等井戸設置事業補助金」を活用して井戸を設置しては。



補助金を活用して設置された井戸(他市町設置)

経済建設部長 ①一定の成果を上げているが、研究途上のものなので積極的な啓発は行っていない。古い家屋の倒壊を防ぐことに重点を置いている耐震化促進事業の啓発と併せて情報提供をしていきたい。

②消防庁や経済産業省等が普及に向けた啓発を行っているが、設置義務化の法令整備は現時点で行われていない。

③有効性は認識しているが国の基準も明確になっていない。今回の意見を基に今後検討を進める。

あの時 一年前の あの日 あの時 あの問題 どうなった あのだん

1年前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡!

住宅リフォーム助成制度について

住宅のリフォームを行った場合、経費の一部を自治体が助成することにより住宅の改善を容易にするとともに、中小零細業者の振興を図るもので「わが家の耐震改修促進事業」の拡充を求める。

その後

住宅リフォームは26年度1件、27年度3件、28年度5月末0件の申請があった。また、28年度より昭和56年度以前の家屋で建て替えを希望される場合100万円を補助する制度を創設しており、既に1件の申請があった。



耐震金具による補強工事

答弁

県の住宅耐震改修工事費助成と合わせた改修工事費助成を創設し、耐震改修に合わせた住宅リフォームの促進を行っている。

◆総務常任委員会◆

まち・ひと・しごと 創生総合戦略について

5月10日

付託案件審査

専決処分したものに
つき承認を求めること
について、2件の審査
を行い、全員賛成で原
案を可決し、本会議に
報告した。

行政不服審査法の施
行に伴う関係条例の
整備に関する条例の
一部を改正する条例
の制定

●主な質疑応答
質疑なし

太子町税条例等の一
部を改正する条例の
制定

●主な質疑応答
問 太陽光発電設備に
係る固定資産税の特例
措置の金額について、
課税標準額は。

答 本来の課税標準額
5億8,928万4,455
円の3分の2の3億9,285万6,303
円に税率を掛けること
になる。

問 熱損失防止改修工
事とは。

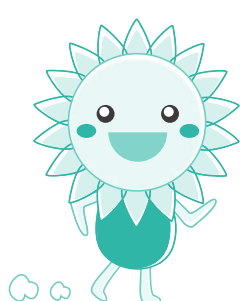
答 主に窓の断熱性を
高める省エネ改修工
事である。

6月9日

課題調査

平成28年度の調査テ
ーマは、「まち・ひと・
しごと創生総合戦略に
ついて」に決定し、調
査項目が広範にわたる
ため、今後どのように
進めていくか協議を行
った。

人口増に対する地域
性の検証をはじめ、さ



答 参加することで応
能の負担を求められる
こともあることから、
費用対効果の検証を十
分に行った上で、加入
を検討する。

◆主な質疑応答◆

問 関係市町に「太子
町」の名前が入ってい
ない事業が多くある
が。

所管事務調査
播磨圏域連携中枢都市
圏ビジョンについて

さまざまな意見が出され
たが、次回も引き続き
協議することに決定し
た。

問 昨年末では請願の
中で少人数学級を「30

答 政府内でも様々な
意見があり、未だ解決
に至っていない。

問 例年同様の請願が
提出され、国へ意見書
を提出しているが、変
化はないのか。

●主な質疑応答●

紹介議員である藤澤
元之介議員より趣旨説
明を受け、質疑応答を
行った。

教職員定数改善と
義務教育費国庫負
担制度2分の1復
元をはかるための、
2017年度政府予
算に係る意見書採択
の要請について

請願審査

6月10日

認知症対策について

◆福祉文教常任委員会◆

人以下」としていた
が、今回「35人以下」
としている理由は。

答 保護者アンケート
の結果、最も要望の多
い人数であることや実
情に合った数にするた
め「35人以下」とした。

障がいのある子ども
への配慮や家庭環境等
も含め、子どもたちの
現状を把握し、適切に
支援していくために
は、義務教育の間、少
人数学級により教育の
充実を図っていくこと
が重要であるとの意見
により、全員賛成で採
択した。

課題調査

「認知症対策につい
て」の最終目標を「認
知症になっても地域で

の支え合いにより対象
者が安全に生活を持続
することができる」こと
を行うこととした。

◆経済建設常任委員会◆

総合的な町おこしについて

4月12日

請願審査

まちづくりに関して、
太子町の行政能力向
上と、議会が地域や
住民視点で取り組む
ことを求める請願

3月定例会で付託と
なった請願第3号につ
いて審査を行った。
5月に委員会の委員の
構成が変更となるた
め、継続審査とするこ
とに決定した。

5月11日

課題調査

委員協議を行った結
果、「総合的な町おこ
しについて」を課題と

6月13日

課題調査

具体的な調査項目に
ついて委員より様々な
意見が出されたが、再
度具体的にまとめ報告
することとした。



請願第3号審査(矢田部地区視察)

請願審査

紹介議員に趣旨説明
を受けた。
そして、請願者であ
る矢田部自治会立会
の下現地の確認を行
った。

結果、現況は、地元
自治会にとって満足に
至らないものである
が、法等に照らし合わ
せても行政の不作為と

は言えないため、本件
を不採択とした。

○全国町村議長会(町議会議員15年以上在職功労
者)表彰

(5月18日 兵庫県公館にて)

○兵庫県自治功労者表彰
(5月23日 神戸市六甲荘にて)

このたび、兵庫県知事並びに全国町村議会議長
会より、橋本恭子議員が永年にわたり地方自治、
地域振興発展に尽力した功を称えて自治功労者
表彰を受賞されました。

太子町! あれこれピックアップ♪

ふるさと太田の城山

城山は太子町の北東に位置し、標高二五〇メートルで、山頂には一等三角点の石柱が設置されています。

山頂には大きな石が散在し、大阪と下関への旗振り通信の中継地跡が残されています。

山口県の毛利家文庫には江戸中期頃、藩主の参勤交代に役立てるため、家臣の絵図方を中心にかかれた、行程記が残されています。これには、大阪堂島の米相場が、旗振り通信とした城山が記録されています。



「楯岩城」の名前の由来となった巨石

城山及び周辺には弥生遺跡、古墳、楯岩城(太田城)、若王子神社、黒岡神社(藤原貞国塚)などの歴史・

文化などがあります。

楯岩城は山頂より、西側のテレビ中継所から西へ、尾根に沿って約五〇〇メートル、南側斜面約六〇メートル、北側斜面四〇メートルの範囲で削平地(郭)があります。この城は播磨鑑などの地誌によれば、建武年間(一二三四～三八)に赤松範資(円心の子)の五男赤松刑部少輔則弘(弘岡祖)が築城し、嫡子次郎泰秀が相続し、その後加東郡に移ります。嘉吉の乱で幕府討伐軍に加わった伊豆守貞村の城となり、嫡子彦五郎教貞、以後三代にわたって相続し、その間嘉吉の乱(一四四一)、応仁の乱(一四六七～一四七七)を経て、天正(一五七三～一五九二)初めに羽柴秀吉(中国攻めの途中)に攻められ滅びます。

楯岩城の周辺には上太田を初め、山田、黒岡、下村、西山に構居が多数あり、家臣に守られています。足利尊氏より、赤松円心の遺領を赤松範資に引き継ぐよう命じ、

広岡氏は弘岡荘を赤松氏の庶子として与えられています。ちなみに、上月町金屋に建武年間記に本郷掃部助直頼が広岡城を築き、有馬系図に本郷掃部助の兄弟として、広岡五郎刑部少輔の名が残されています。

太田地区には、城に由来する地名で二の丸、姓名の広岡二の丸、などが残っています。

(楯岩城を保存する会 原田 記)



若王子神社入口鳥居・楯岩城遊歩道入口



編集後記

土用の起源とウナギの関係

立春・立夏・立秋・立冬の日の前の十八日間を土用とする陰陽五行説に由来し、普通は夏の土用(八月二十日ごろ)をいう。大暑の節とも重なっているため、暑気にあたらぬため「うの字」のついた物を食べる行事もある。土用の第三日を「土用三郎」といい、この日の天候でその年の豊凶を占う風習もある。

土用丑の日とウナギを結びつけたのは平賀源内だといふ。

(玉田 記)

◆編集

広報広聴常任委員会

委員長 堀 卓史
副委員長 平田 孝義
委員 井村 淳子
玉田 正典



議会だより編集風景